

JUN JUN PAPER 110

じゅん矯正歯科クリニック
☎06-6266-0018 ✉jun@jun-oc.com

じゅん矯正歯科クリニック 検索 詳細ウラへ

2019年は亥年です。十二支の漢字は「植物の様子」を表しているのだそうで、十二支最後の「亥」は「草や木の生命力が、種の中に閉じ込められた状態」を表しているのだとか。種の中に宿った新たな命が、春になって芽吹くの待っている時期、そして命を次の世代へと繋いで行く大切な準備期間だそうです。そのような意味合いから「亥年」は、自分磨きをしたり、目標に向けて準備したりするための1年でもあると言われています。

さて、なぜそんな話をするのかというと、実は私は亥年うまれで今年が年女なのです。年女になれるのは12年に一度しかないことなので、今年はちょっと**特別な気分**になっています。

そんな中、先日偶然観たテレビ番組を思い出しました。その番組には、毎月何か自分にとって新しいことをするという自分に課している、という人が出演していました。

その人はそれまで全く興味のなかったあるゲーム競技を、自分に課した新しいことをするというだけの理由で始め、ついには世界一になったそうです。

以前は新しいことに容易に出会えて、そのたびにドキドキしたり不安になったりしたのですが、年々日常を繰り返すことに慣れてきて、新しいことを始めるのも億劫になってきているのを感じます。だからこそこれからは自分にとっての新しいことを見つけて、あえてチャレンジしていきたいと思っています。

例えば今まで行ったことのない場所に出かけてみるとか、自分の行動パターンを変えてみるとか…とはいえ、日常生活は新しいことを始めるよりも慣れに従った方が楽なので、面倒くさがり屋の私はすぐに楽な方へ楽な方へと流れてしまいがちです。

まずは小さな「初めて」に目を向けていくことから始めてみようかなと思っています。



じゅん矯正歯科クリニック
院長 阿部 純子

JUN-OC Staff talk 今月のテーマ

【どんな習い事していましたか？】

皆さんの「これまでの習い事」「継続中の習い事」
こっそりスタッフにお知らせくださいね！



阿部

子どもの頃は
エレクトーンと書道を習っていました。
エレクトーンは大学時代に
ちょっとだけ再開しましたが、
また機会があったら始めたいなと
思っています。



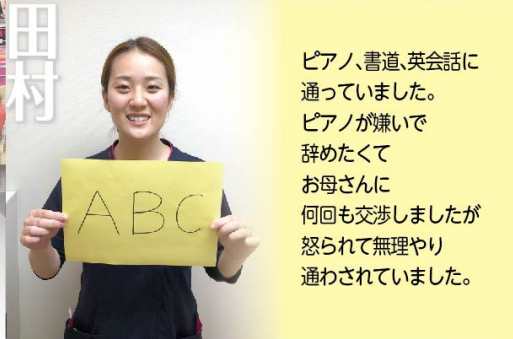
大中

クラシックバレエ、ピアノ、
琴を習っていました。
今は、すっかり体が硬くなり
あの頃の写真が嘘のようです。



平松

ピアノと
スイミングスクールに
通っていました(*^^*)
スイミングの帰りに、
お母さんと弟と寄り道して、
チキンやポテトを食べるのも
楽しみでした。(笑)



田村

ピアノ、書道、英会話に
通っていました。
ピアノが嫌いで
辞めたくて
お母さんに
何回も交渉しましたが
怒られて無理やり
通わされていました。



西

ピアノ、書道、そろばんを
習っていました。
書道は、習い直したいな〜と
何年前前から考えていますが
実現できていません(笑)

課題図書 23 冊目

皆さんも一緒に本を読んで、感想をシェアしませんか？



次回予告



歯科衛生士：田村 選出
「世界から猫が
消えたなら」

川村元気(著) | 小学館文庫

田村 選出

以前、映画化されていて
気になっていました。
わたしも主人公と
同じように、映画オタクで
猫と暮らしているのので、
どんな内容が気になり
これをえらびました。



スタッフの感想

最近家族を含め死に直面している人が多く「命と引きかえに…」という言葉が、心痛みました。自分の人生の大切さ、そして周りの人達の人生の大切さ、それぞれの人生をそれぞれが悔いのない様に生きて行かないといけないと思いました。

以前の小説が映画化されたのを観たことがあり、それをきっかけに猫を飼うようになったので、この小説を読むのを楽しみにしていました。自分の人生を彩った登場人物や景色が消えてしまうのは、自分が生きた証が消えるようなもので、実際の命を削られるのと同じくらい辛いのではないかと思います。

自分の余命を延ばすために、何か他のものを消すところから始まり、1つ1つ消すものに対して忘れていた大切なことを思い出すというお話でした。いつ、誰がいなくなるのかわからないし、一日一日悔いなく過ごしたいなと改めて感じました。

題名から想像していたのとは全然違う話でした。もし世界から〇〇が消えたならという、主人公の想像と自分の想像を照らし合わせたり出来る内容で、今私たちが必要としているものは本当に必要なのかなと考えさせられました。

余命宣告された主人公のもとに、明るい悪魔が現れ、1日分の命と引き換えに世界から1つモノを消していくというお話でした。身近にある色々なモノが消えていく中で、忘れていた大事なことに気づき、今までの人生を振り返って、死を目前に悔いを残さぬよう動く姿が印象的でした。



課題図書 24 冊目

受付・歯科助手
平松 選出
「ベンギン・ハイウェイ」
角川文庫
森見登美彦(著)